

【資料4】地域包括支援センター自己評価表(要約)

※実施状況欄(達成度) A・・・できている B・・・一部できている C・・・できていない

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)								
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江		
1 基本的事項	(1)	各年度の基本方針・重点目標	当該年度のセンター事業計画書の目標が職員に理解されている	A	B	A	A	A	A	A	
	(2)	配置職員	各専門職種が配置されている。欠員が生じた場合は、業務に支障をきたさぬよう、できるだけ早く後任者を配置するように務めている。	A	A	A	A	A	B	B	
	(3)	24時間体制の確保	相談窓口としてセンターの休館や職員不在の際に、何らかの手段で住民からの相談に応じる体制がある	A	A	A	A	A	A	A	
	(4)	チームアプローチの確立	包括業務をするにあたり、各専門職種がそれぞれの専門性を活かして業務にあたっている	B	B	B	B	A	A	A	
			職員間でミーティングを定期的に行うなど、情報を共有している	A	A	A	A	A	B	A	
	(5)	専門職員会議や職員研修を通じた職員の資質向上	職場外の研修への機会を確保している	A	A	A	A	A	A	A	A
			職場内の研修(伝達研修、法人内研修等)への機会を確保している	A	A	A	A	A	B	A	
			研修以外にも専門職員会議を通じて、職員の資質向上を図っている	A	A	A	B	A	B	A	
	(6)	施設環境	高齢者や地域住民に分かりやすいようにセンターの看板や案内表示が掲示されている	A	B	B	A	B	A	C	
			利用しやすさやプライバシーが守れるような相談場所が確保されている	B	B	B	A	A	A	B	
			法人内の他の事業所とは独立した執務室を設置している、または他のサービス部門と同一区画を利用する場合は、パーテーション等により、他のサービス部門と分けをしている	A	A	C	B	C	B	C	

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)						
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江
1 基本的事項	(7) 情報管理	相談記録を適切に管理している	A	A	A	A	A	A	A
		センターが施錠できるようになっている。または、施錠可能な保管庫を持ち、得られた個人情報適切に管理している	A	A	A	A	A	A	A
		関係機関との連携において、個人情報をやりとりする必要がある場合は、あらかじめ利用者に説明し、同意を得ている	A	A	A	A	A	A	A
	(8) 地域住民に対する広報	パンフレット・チラシを作成、配布し、センターの活動を周知している	B	B	A	A	A	B	A
	(9) 報告・届出書等	職員の変更があった際は、変更届出書または職員名簿を速やかに提出している	A	A	A	A	A	A	A
		運営事業実施報告書、介護予防事業実施状況報告書、虐待等に関する報告書を期日までに提出している	B	A	B	A	B	A	B
		センターに対する苦情があれば内容を把握し、本人及び家族の意向を尊重しながら対応している。また、苦情内容を記録化し、回覧するなどセンター内で情報を共有している	A	A	A	A	A	A	B

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)							
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江	
2 総合相談支援業務	(1)	地域の高齢者の実態把握	担当圏域の第一号被保険者数(高齢者人口)や単身高齢者・高齢者のみの世帯数を把握している	A	B	B	A	A	A	A
	(2)	地域におけるネットワーク構築	地域ケア会議を開催している	B	B	C	A	B	A	A
			既存のネットワーク(民協定例会、介護予防地区講座、老人クラブ等)を利用して、地域実情に応じた各種ネットワークの構築、支援を行っている	B	B	B	B	B	A	B
	(2)	地域におけるネットワーク構築	地域住民や関係機関が取り組む地域マップやリスト(高齢者安心マップ、防災マップ等)の作成・整理に協力し、地域の社会資源を把握している	B	B	C	A	B	A	C
			地域の役員(民生委員、在宅福祉委員等)に、高齢者虐待に関する基礎理解を得られるような情報や学習機会を提供している	C	C	C	A	B	A	C
			虐待の疑いがあるケースに対して、見守り支援ができるように、見守りネットワーク作りへの取り組みを行っている	B	C	B	B	A	A	C
	(3)	認知症高齢者等及び家族への支援	認知症高齢者に関する基礎理解を得られるような情報提供や学習機会(認知症サポーター養成講座の開催等)を提供するとともに、認知症カフェの支援・周知を行っている。	A	B	B	A	A	A	B
			相談内容に応じて専門医・専門機関の情報を提供するなど、早期発見・対応に向けた支援をしている	A	B	A	A	A	A	A

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)						
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江
2 総合相談支援業務	(4) 初期段階での相談業務	相談があれば速やかに対応するなど、相談者と信頼関係構築に努めている	A	A	B	B	A	A	A
		積極的に訪問活動をし、実態の把握に努めている	A	A	A	A	A	A	A
		的確に状況を把握し、緊急性の有無を判断している	A	B	A	A	B	A	B
		相談内容は全て記録化している	A	B	A	B	A	B	A
	(5) 専門的・継続的相談支援	相談内容に応じて関係機関と連携している	A	A	A	A	A	A	A
		困難事例等についてケースカンファレンスを開催する等、適宜関係機関と連携し、支援の方向性を検討している	A	A	A	A	A	A	A
		専門的・継続的な支援が必要な場合には、個別の支援計画を策定し、支援内容について定期的にモニタリングを行っている	C	B	B	B	B	B	C
3 権利擁護業務	(1) 高齢者虐待事例への対応	虐待や虐待の疑いのあるケースの通報を受けた場合には、市長寿社会課と連携し、適切に対応している	B	A	A	A	A	A	B
		相談事例に対して適宜会議(ケースカンファレンス等)の開催、関係機関との連携など支援の方向性を検討し、対応している	A	A	B	B	A	A	A
		養護老人ホーム等へ措置入所が必要と判断される場合には、市長寿社会課に速やかに状況を報告し、措置等に向け連携している	A	A	A	B	A	A	A

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)						
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江
3 権利擁護業務	(2) 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の活用促進	相談業務等から高齢者の判断能力を把握し、成年後見制度を利用する必要性を判断している	A	B	A	B	A	A	B
		成年後見制度の利用が必要と判断した場合、本人及び親族に対して成年後見制度の手続方法等を説明し、申立が行えるように支援している	A	B	A	B	A	B	B
		地域福祉権利擁護事業の利用が必要と判断した場合、本人(家族)に対して地域福祉権利擁護事業の手続方法等を説明し、制度利用ができるように支援している	A	B	A	B	A	B	B
	(3) 困難事例への対応	困難事例の相談があった場合、必要に応じて訪問するなど実態把握を行っている	A	A	A	A	A	A	A
		困難事例を把握した場合には、各専門職種が連携して対応策を検討している	B	B	A	A	A	A	A
		困難事例の実態把握のための取組として、地域のネットワークや関係機関との連携体制を活用している	A	B	B	B	A	A	A
	(4) 消費者被害への対応	地域における消費者被害の状況を把握している	B	B	C	B	B	A	B
		把握した消費者被害の情報を地域の協力者(民生委員等)に提供している	B	B	B	A	A	A	B
		消費者被害の事例を把握した場合、関係機関(市市民総合相談課、長寿社会課等)に連絡し、対応を行っている	A	A	A	A	A	A	B
		専門機関(市市民相談課、警察等)と連携し、消費者被害の防止のための普及啓発・連携体制作りを行っている	A	B	B	B	C	A	B

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)						
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江
4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	(1) 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	医療機関・関係機関(医師会、病院地域連携室、民生委員、自治会、在宅福祉委員、警察、消防等)と連携している	B	B	B	A	A	A	A
		介護支援専門員と他職種(医療機関等)が連携できるよう支援している [例:西部医師会を通じて行う意見交換など]	A	B	B	B	A	A	A
		入院・入所、退院・退所時に必要に応じてケースカンファレンスを実施する等、医療機関(医師、看護師、MSW等)と介護保険施設、居宅介護支援事業所(各介護支援専門員等)とが連携できるように調整、支援している	A	B	B	A	A	A	A
		サービス事業者と居宅介護支援事業者とが連携できるよう支援している [例:ヘルパー事業所連絡会開催支援など]	B	B	C	A	A	A	B
		地域の保健・医療・福祉サービスに関する情報収集及び必要に応じた関係機関(医療・福祉施設)への情報提供を行っている	A	B	C	A	A	B	B
	(2) 地域のインフォーマルサービスの連携体制づくり	地域のインフォーマルサービスとの連携体制づくりとして、活動内容や特徴を把握し、情報の整理を行っている	B	B	B	B	B	A	B
	(3) 介護支援専門員に対する個別支援	介護支援専門員に対し、相談窓口を設置し、必要な情報提供や助言指導を行っている	A	B	A	A	A	A	B
		介護支援専門員が抱える困難事例に対する支援(同行訪問、サービス担当者会議開催支援)を行っている	A	B	A	A	A	A	A
		介護支援専門員からの相談票等の記録を残し、再度相談があった際に活用できるようにしている	A	A	A	A	A	A	A
		電話、訪問面接以外に、介護支援専門員が相談しやすいよう、手紙やFAX(相談連絡票の作成など)等の多様な相談経路を設けている	A	B	B	B	A	A	C
		ケアマネジメントの質の向上のために、介護支援専門員に必要な情報提供、研修の実施等を行っている	B	B	B	B	A	A	B

大項目	中項目	小項目	センター別実施状況(達成度)						
			ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	尚徳	弓浜	箕蚊屋	淀江
5 介護予防ケアマネジメント事業	(1) 二次予防事業対象者の把握	基本チェックリストから二次予防事業対象者を把握し、介護予防サービス利用に向けアプローチしている	B	B	B	A	A	A	A
		介護保険非該当者(一般高齢者・二次予防事業対象者)に対し、介護予防サービス利用に向けてアプローチしている	A	A	A	A	A	A	A
		基本チェックリスト以外の多様な経路(サロン活動支援、老人クラブとの関わり等)から二次予防事業対象者を把握している	B	B	B	A	A	A	C
		情報提供機関と必要に応じて連携を行っている	A	B	A	A	A	A	A
	(2) ケアマネジメントの実践	課題分析(一次アセスメント)を適切に行っている	B	B	A	A	A	A	B
		アセスメント結果等の個人情報に関する取扱いについて、対象者に説明し同意を得ている	A	A	A	A	A	A	A
		対象者及び家族と面接しながら、介護予防ケアプラン作成を適切に行っている(目標、利用サービスなどの決定)	A	B	A	A	A	A	B
		事業実施状況、目標達成、事業の適切性、新たな介護予防ニーズの有無について、的確にモニタリングを行っている	B	B	B	A	A	B	B
		効果の評価を適時・適切に行っている	B	B	B	A	A	A	B
	(3) 介護予防普及啓発	地域のサロンや会議、イベント等を利用して、地域住民や利用者への介護予防の啓発を行っている	A	B	B	A	A	A	B
		必要に応じて介護予防のパンフレット、リーフレット、DVD等を活用している	A	B	B	B	A	A	A